

投稿規定細則

1. 種類：総説、原著論文、症例報告、技術紹介、ミニレビュー、認定医症例報告その他
2. テーマ：歯科医学全般にわたる機関誌ですので、歯科医学、医学に関連するものでしたらご自由にご執筆ください。
3. 掲載ページ数：カラー4 ページ以上（日本語もしくは英語で 2,500～，図表含む）
4. 締切：2018 年 6 月末日
5. 臨床家を中心とした読者にわかりやすく解説していただくため、図や写真を使い、できるだけ平易な表現でかつ、学術的なデータをもとにご執筆くださいますようお願い申し上げます。
6. 掲載予定：The Japanese Journal of Clinical Dentistry Vol.4 No.1
7. ご執筆要領

執筆ボリューム：約 2,500 字以上（図表含む）上限は基本的に決めておりません。マイクロソフト・ワード（.doc）にて入力ください。原稿の初めはタイトル，執筆者氏名（ふりがな），著者所属，著者略歴，連絡先およびメールアドレス。また，タイトルと著者名には英文をつけてください（英文の場合は必要ありません）。図表などはカラーでの掲載となりますので，カラーのデータをお送りください。図表の保存形式は.jpg で解像度は 300dpi 以上をお願いいたします。最近のデジタル カメラの場合，撮影モードのうちでもっとも高画質になるものを選択し，縮小・圧縮を行わなければこの条件は自然とクリアされると思われます。ただし「RAW」モードの画像は当方では現像いたしません。

文献，数値データに関して出典の記載をお願いいたします。

出典は以下の書式にてご記入ください。

8. 投稿様式

- 1) 原稿は，次の順に統一してください。

原稿は，タイトル(和文，英文)，和文抄録(約 300 語程度)，英文抄録(約 200words 程度)，本文，参考文献，図表の表題と説明文，表，図から構成されます。

- 2) タイトル(表題)について

最初のページを表題(タイトル)のページとして，原稿の種類を明記した上で，タイトル，著者(共著者含む)，所属を各々和文と英文で記し，続けて連絡者のメールアドレスを記入してください。

- 3) 本文について

- ① 原稿は A4 サイズに MS 明朝で 10.5 ポイントの文字サイズで記してください。1 頁 35 字×30 行，右スペースを 25mm とする。MS Word をソフトとして用い，.doc ファイルにてお願いします。なお，ファイル名は「投稿原稿 タイトル-著者名」としてください。
- ② 原稿の下段中央にページ番号を記してください。
- ③ 見出しを用いるときは次の順に項目をたててください。
3 → 3) → (3) → a → a) → (a)
- ④ 数字はアラビア数字とし，単位の記号は JIS・Z8202 および Z8203 に準じ，国際単位系 (SI) を使用するよう努めてください。
例：GHz, MPa, kW, cm, mV, μ m, nA, pF, ml, mmol, N, K, min, cm・sec・deg
- ⑤ 学術用語は，原則として「文部科学省 学術用語集」にしたがって表記してください。
例：強度→強さ，硬度→硬さ，抗張力→引張強さ，治具→ジグなど
- ⑥ 商品名，器械名などは，可能な限り一般名を用い，メーカー表示に準じてください。
- ⑦ 統計処理については用いた統計手法，有意水準（例： $\alpha = 0.05$ ）あるいは危険率（例： $p < 0.05$ ）などを記載してください。

4) 図表について

- ① 図や写真は刷り上り寸法以上，解像度は 300dpi 以上とし，.jpg ファイルとしてください。最近のデジタルカメラを用い，縮小・圧縮を行わなければこの条件は自然とクリアされると思われます。
- ② 図表は片段か両段一杯になることが望ましく，刷り上がりを想定して図の大きさが片段で横幅 65 ~ 75 mm，両段で 140 ~ 150 mm になるように縮小コピーし，文字，記号の大きさ，線の太さなどをチェックしてください。図中の文字は，刷り上がりで本文とほぼ同じ 10 ~ 13 級 (7 ~ 9 ポイント)，線の太さは 0.15 ~ 0.3 mm になるよう原図を作成してください。
- ③ 写真の拡大率は，必要に応じて原図中の右下に単位長さのバーで表してください。
- ④ 記号は中心の明確な○●□■◇◆などを使用してください。
- ⑤ 記号を使用する場合の凡例は，脚注に置かずに図中に入れてください。
- ⑥ 表については縦の罫線はできる限り入れなでください。

- ⑦ 表中の標準偏差は、() もしくは±とし、信頼区間との混同を避けるために説明を入れてください。
- ⑧ 単位などの表記は同一言語に統一してください。単位 (unit), 平均 (mean), 標準偏差 (SD)

5) 文献について

- ① 文献は、本文中の引用箇所の肩に引用した文献番号を付け本文の末尾に一括して掲載する。体裁は、^{1,2)}, ¹⁻³⁾, のようにしてください。
- ② 文献として不適当なもの、例えば未公表のデータや私信などは文献として引用しないでください。
- ③ 文献の記載方法の基本は次のとおりお願いいたします。

雑誌の場合

著者名 (原則として6名までは全員). 表題-サブタイトル-. 雑誌名 発行年; 巻 (号*): 引用ページの初めと終わり. *ページ表記が1号ごとに1ページから始まる雑誌 (通しページでない) に限り, 号も記載

例: Anthony W, Gargiulo A, Wentz F, Orban B: Dimensions and Relations of the Dentogingival Junction in Humans. J Periodontol 1961; 32: 261-267.

例: 日高豊彦: 審美的インプラント修復におけるプロトコル. 日補綴会誌 2012; Vol14, No1; 35-42.

単行本の場合

著者名. 書名. 版数: 発行所名; 発行年. 引用ページの初めと終わり.

例: 長谷川二郎, 平澤忠, 高橋重雄編集: 現代歯科理工学 第6版, 医歯薬出版(株), 東京, 1996, p20.

分担執筆の場合

分担執筆者名. 分担執筆の表題. 編者または監修者. 書名. 巻などの区別: 発行所名; 発行年. 引用ページの初めと終わり.

例: 土屋賢司: 欠損歯槽堤. 最先端審美修復の理論と臨床 山崎長郎編 2002, クインテット出版株式会社; 58-65.

翻訳書の場合

著者(翻訳者). 書名(翻訳書名. 発行所名: 発行年; 引用ページの初めと終わり); 発行年

例：Fradeani M (山崎長郎, 日高豊彦, 瀬戸延泰, 植松厚夫): Esthetic rehabilitation (エステティックリハビリテーション/補綴治療のための審美分析, クインテッセンス出版株式会社 2005, p120-125.); 2004.

規格の場合

規格名略号 規格番号-制定年. 規格タイトル名. 発行所名

例：JIS T 6116-1990. 歯科鑄造用金合金. 日本規格協会

9. 原稿は下記送付先までメールでお送りください。
swakabayashi@quint-j.co.jp 若林茂樹
10. 原稿依頼および執筆内容についてご不明な点は、若林茂樹 (Tel: 03-5842-2277
Mail: swakabayashi@quint-j.co.jp) 113-0033 東京都文京区本郷 3-2-6 クイントハウスビル クインテッセンス出版株式会社までお問い合わせください。
11. お送りいただいたお原稿は、編集委員会にて拝見させていただきますため、お問い合わせ事項がございます場合は、ご確認・ご修正のお願いを差し上げることがございます。何卒ご了承くださいますようお願い申し上げます。

以上

特定非営利活動法人日本臨床歯科医学会
学会誌編集委員会